

ラグビー憲章

World Rugby Playing Charter

品位 (INTEGRITY)

情熱 (PASSION)

結束 (SOLIDARITY)

規律 (DISCIPLINE)

尊重 (RESPECT)

はじめに

単なる娯楽としてスタートしたラグビーというスポーツは、世界的なネットワークを誇るゲームへと変容を遂げ、巨大なスタジアムが建設され、複雑な運営組織が作り出され、入り組んだ戦略が構築されてきた。万人の強い興味と関心を引く活動がどれもそうであるように、ラグビーフットボールには多くの特徴があり、いろいろな側面がある。

ラグビーは、男性にも女性にも、男の子にも女の子にも、世界中でプレーされている。6歳から60歳を超える人まで、850万人以上の人々が定期的にラグビーのプレーに参加をしている。ラグビーには様々な種類のスキルや身体的要件が求められるが、そのことが、あらゆる体形、体格、そして、能力を持つ人に参加する機会を与えているのである。

ゲームをプレーすることとその補助的支援とは別に、ラグビーには、勇気、忠誠心、スポーツマンシップ、規律、そして、チームワークといった多くの社会的・情緒的概念が包含されている。この憲章は、競技の方法と行動の評価を可能にするチェックリストを示すためにある。その目的は、ラグビーがそのユニークな特徴をフィールドの内外で維持できるようにすることにある。

この憲章は、ラグビーというスポーツをプレーし、指導し、競技規則を作り、適用する際の基本原則を網羅している。この憲章は、競技規則とともに欠かすことのできない重要なものであり、すべてのレベルでプレーする人たちのための基準を示すものである。

ゲームの原則

行動

フットボールの試合中に初めてボールを拾い上げ走ったと言われているウィリアム・ウェブ・エリスの伝説は、ラグビー校でそれが起きたと言われている1823年のその日以来、これを否定しようとする数え切れない人々の反論に対抗して強固に生き延びてきた。ラグビーという競技が、スピリット溢れる果敢な抵抗にその起源を持っていたに違いないと考えることは、ある意味適切なのである。

ラグビーをあまり知らない人が少し見ただけでは一見矛盾の固まりのように思われるこの競技の背景に、ラグビーというゲームを支配する原則を見出すことは難しい。例えば、ボールを獲得しようとして相手に強烈な身体的圧力をかけていると見られることにはまったく問題はないが、それは故意に、あるいは悪意を持って怪我を引き起こそうとする行為ではないのである。

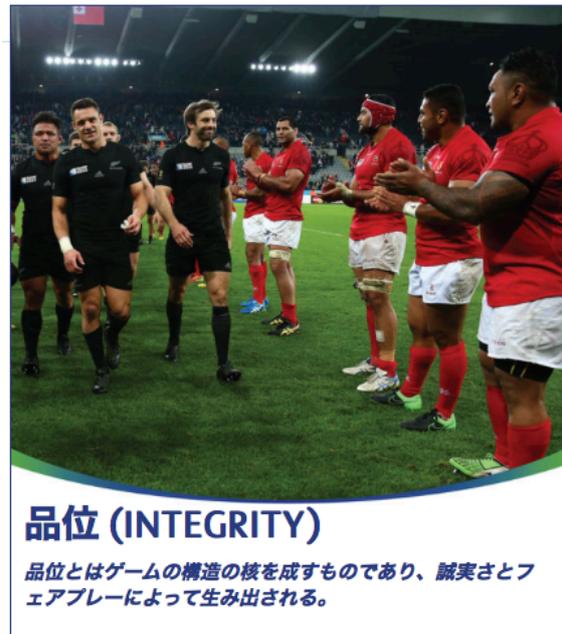
これらはプレーヤーとレフリーがその範囲内で行動しなければならぬ境界であり、行動規範は、自制と規律を融合させ、個人でも集団でも、明確に細かく線引きする能力に依存しているのである。

精神

ラグビーの魅力の多くは、ラグビーが競技規則に記された文言に従うとともに、競技規則の精神の中でプレーされているという事実にある。これが確実に起こるようにする責任は一個人に帰するものではなく、コーチ、キャプテン、プレーヤー、そして、レフリーも含まれるものである。

ゲームの精神は、規律、自制、相互の信頼を通してこそ繁栄するものであり、ラグビーのような身体的に激しいゲームの中においては、これらの資質がゲームの継続的な成功と生き残りに極めて不可欠な、友情とフェアプレーの感覚を築くのである。

それらは時代遅れの伝統と美徳かもしれないが、時代を超えて不変であり、ゲームがプレーされるすべてのレベルにおいて、その由緒ある過去の中で重要だったように、ラグビーの将来においてもずっと重要なものであり続ける。ラグビーの原則は、ゲームが基礎を置く基本要素であり、参加する者はこの原則によって、ラグビーの特性や他のスポーツとの違いをすぐに見出すことができるのである。



目的

ラグビーというゲームの目的は、競技規則、スポーツ精神、および、フェアプレーに則り、ボールを持って走り、パスやキック、また、グラウンディングをして、相手チームに対してできる限り多くの得点を挙げることである。

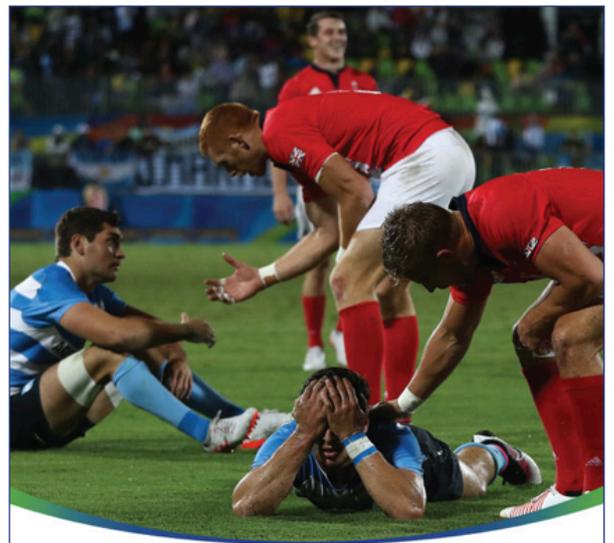
ボールの争奪と継続

ボール獲得のための争奪は、ラグビーの鍵となる特徴の一つである。この争奪はゲームを通して、いろいろな形で発生する。

- ・ コンタクト時に
- ・ 一般のプレーで
- ・ スクラム、ラインアウト、そしてキックオフでプレーが再開されるときに

ボールの争奪はその前のプレーにおいて示された優れたスキルに報いるようにすることでバランスが保たれる。例えば、プレーを継続する能力がないためにタッチにボールを蹴り出すことを強いられたチームは、ラインアウトでの投入を認められない。同様に、ボールを前に落としたり、前に投げたりしたチームは、その後のスクラムでのボール投入が許されない。ボール投入の際、ボールを投入するチームに常に優位性があるには違いない。しかしここでも再び、これらのプレーの中で公平なボール争奪が可能であることが重要である。

ボールを保持しているチームの目的は、相手のボール獲得を否定し、継続を維持し、スキルに富んだプレーで前進し、得点を上げることである。これに失敗するという事は、ボールを支配しているチームの側の能力不足の結果として、あるいは相手防御の優秀さのために、相手にボールを譲り渡すことを意味する。つまり、ボール争奪と継続、利益と損失ということである。



結束 (SOLIDARITY)

ラグビーは、生涯続く友情、絆、チームワーク、そして、文化的、地理的、政治的、宗教的な相違を超えた忠誠心へとつながる一体的な精神をもたらす。

一つのチームがボール保持の継続を維持することを試み、一方相手チームはボールの争奪に励む。このことがプレーの継続とボール保持の継続との必須のバランスを提供する。争奪の可能性と継続というこのバランスは、セットピースと一般プレーの両方に当てはまる。

競技規則の原則

競技規則は以下の原則を拠り所としている。

すべての人にとってのスポーツ

競技規則は、異なった体格、スキル、性、そして年齢のプレーヤーに、それぞれの能力のレベルにおいて、コントロールされた競争的で楽しい環境において参加できる機会を提供する。競技規則に関する完全な知識と理解を有することは、ラグビーをプレーするすべてのプレーヤーにとっての義務である。

独自性の維持

競技規則は、スクラム、ラインアウト、モール、ラック、そしてリスタートを通じて、ラグビーの持つ他にはない特徴が維持されることを保証する。また、ボール争奪と継続に関連する鍵となる特徴、すなわち後方へのパス、攻撃的なタックルも同様である。



規律 (DISCIPLINE)

規律とはフィールドの内外においてゲームに不可欠なものであり、競技規則、競技に関する規定、そして、ラグビーのコアバリューを順守することによって表現される。

喜びと楽しみ

競技規則はプレーをする上で楽しく、見る上でおもしろいゲームのための枠組みを提供する。時として、この二つの目的が両立しがたいように思われる場合があるが、そのような場合には、プレーヤーにプレーヤーの持つスキルを自由に発揮できるようにさせることで、喜びと楽しみが大きくなる。この適切なバランスを達成するために、競技規則は常に見直されている。

適用

プレーヤーには競技規則を遵守し、フェアプレーの原則を尊重するという最優先の責務がある。競技規則は、ゲームがラグビーの原則に従ってプレーされるのを保証するように適用されなくてはならない。レフリーとタッチジャッジはこれを、公平さと一貫性と繊細さと、そして最高のレベルにおいては、管理を通して達成できる。その返礼として、マッチオフィシャルの権威を尊重することはコーチ、キャプテン、そしてプレーヤーの責任である。



尊重 (RESPECT)

チームメイト、相手、マッチオフィシャル、そして、ゲームに参加する人を尊重することは、最も重要である。

ラグビーユニオンという競技

ラグビーコミュニティは、あらゆる年齢のプレーヤーに対し、各プレーヤーの期待やスポーツで実現したいことをサポートするインフラとともに、長期プレーヤー育成計画（LTPD）を提供してくれます。これによってプレーヤー達は、純粹に楽しむことを目的としてプレーしたり、または、自ら選択して、草の根レベルからエリートレベルまでにおいて、個人のスキルや競技の技術的な理解を向上させたりすることができるのです。

しかしラグビーが与えてくれるものは、激しい運動を行う機会だけではありません。ラグビーは、社会的・道徳的な脈絡の中でプレーヤーを育ててくれるという価値のあるスポーツです。競技のコアバリューには、以下のものがあります

品位（INTEGRITY）

品位とはゲームの核をなすものであり、誠実さとフェアプレーによって生み出される。

情熱（PASSION）

ラグビーに関わる人々は、ゲームに対する情熱的な熱意を持っている。ラグビーは、興奮を呼び、愛着心を沸かせ、世界中のラグビーファミリーとの一体感を生む。

結束（SOLIDARITY）

ラグビーは、生涯続く友情、絆、チームワーク、そして、文化的、地理的、政治的、宗教的な相違を超えた忠誠心につながる、一つにまとまった精神をもたらす。

規律（DISCIPLINE）

規律は、ゲームに不可欠なものであり、フィールドの内と外の両方において、競技規則、競技に関する規定、そしてラグビーのコアバリューの順守を通じて示される。

尊重（RESPECT）

チームメイト、相手、マッチオフィシャル、そして、ゲームに参加する人を尊重することは、最も重要である。

おわりに

ラグビーは、成人の男性にとっても女性にとっても、少年にとっても少女にとっても価値のあるスポーツである。ラグビーは仲間の競技者との間のチームワーク、理解、協力、そして尊敬を作り上げる。その基になるのは、それらがいつでもそうであったように、参加する喜び、ゲームが要求する勇気とスキル、関与するすべての人々の人生を豊かにするチームスポーツへの愛、そしてゲームにおいて共有される興味を通して築かれる生涯の友情である。そのような偉大な友情が試合の前にも後にも存在するのは、ラグビーの持つ激しい身体的・競争的特徴があるからである。競い合うチームのプレーヤーがお互いに楽しむという永きに渡って存在する伝統は、ゲームの中核となる部分として今日も存続している。ラグビーはプロフェッショナルの時代の到来を完全に受け入れるようになったが、リクリエショナルなゲームとしての特質と伝統は残っている。伝統的なスポーツの特質の多くが弱められ、あるいは疑われる時代にあって、高い水準のスポーツマンシップ、倫理的な行動、そしてフェアプレーを維持する能力をラグビーが有することを、ラグビーは真に誇りに思う。この憲章は、これら大切に守られてきた価値を強めるための一助になることを期すものである。